

# 仕事に魂を入れるという事

秋晴の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、「画竜点睛を欠く」ということわざがあります。その意味は、「ほとんど完成しているが、肝心なところが抜けているために全体がだめになっている」というものです。

実は、我々の日常にはいくつも存在しています。例えば「挨拶」。テープレコーダーよろしく「おはようございます」とか

「こんにちは」と連呼していれば良いのではありません。そんなものは騒音にしかなりません。AAO. 3活動のように最低0. 3秒相手の目を見て笑顔で挨拶して初めて(できれば立ち止まって)、相手は挨拶されたと感じるのです。

「画竜点睛を欠く」仕事は、言われた事だけやればいいんでしょ、という人によく見かけられます。清掃であれば、「きれいにする」ではなく、「きれいにして感動してもらう」のが本来の仕事です。挨拶であれば、「挨拶をする」ではなく、「挨拶をして、相手に良い気分になってもらう」が目的ではないでしょうか。

「画竜点睛を欠く」仕事を見ると、誠にもったいない気持ちがします。与えられた仕事に対して成果を気にして魂をいれてみませんか？ やりがいや成長はそんなところから生まれるのではないのでしょうか？



代表取締役社長 吉田治伸

